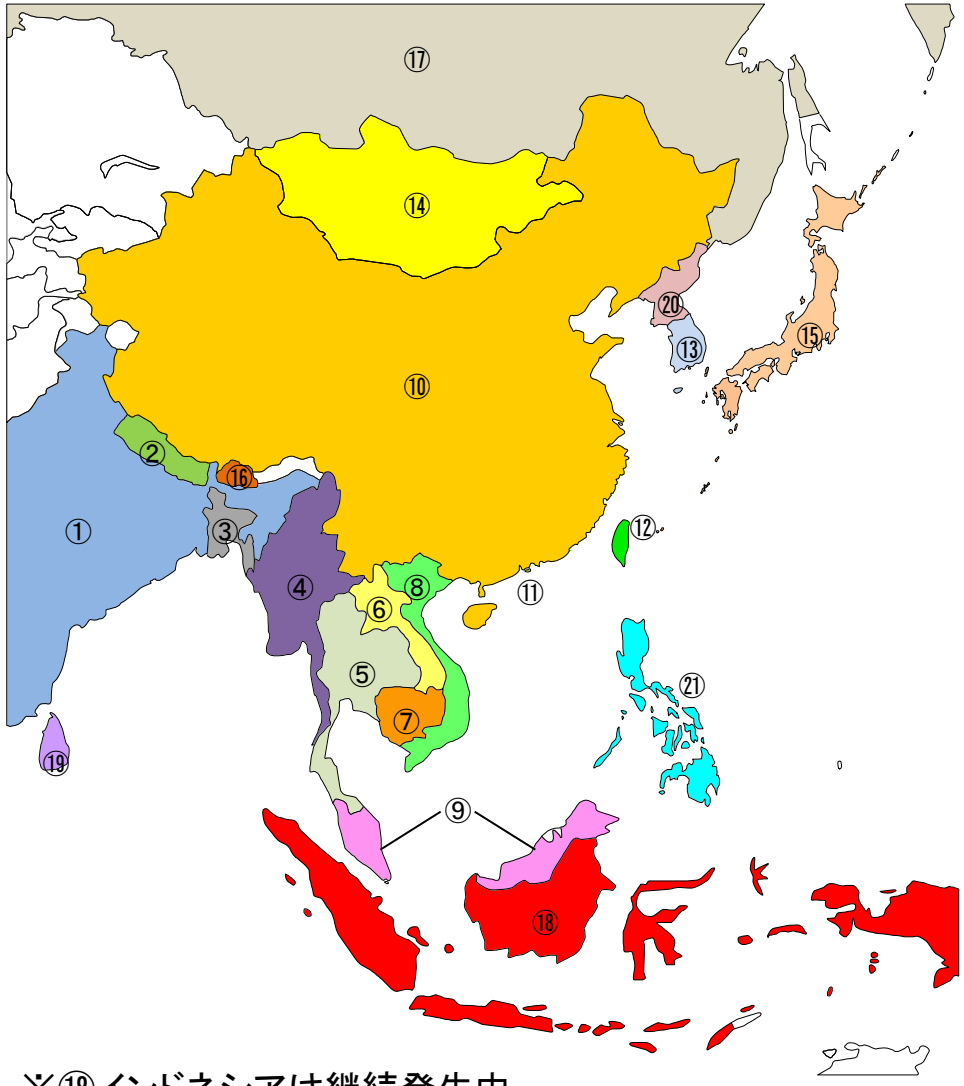
アジアにおける高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況



※⑱インドネシアは継続発生中

2018年9月25日現在

家きん● 野鳥▲ （発生日、検体回収日に基づく）

（赤：高病原性鳥インフルエンザ、青：低病原性鳥インフルエンザ）

出典：OIE WAHID 他　※野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては、確認ができた台湾のみ記載

		①インド	②ネパール	③バングラデシュ	④ミャンマー	⑤タイ	⑥ラオス	⑦カンボジア	⑧ベトナム	⑨マレーシア	⑩中国	⑪香港	⑫台湾	⑬韓国	⑭モンゴル	⑮日本	⑯ブータン	⑰ロシア	⑲スリランカ	⑳北朝鮮	㉑フィリピン
2014年		●▲	●●	●			●●	●	●		●●	●	●● ▲	●▲		●▲		●▲		●	
2015年		●▲	●		●		●●	●	●		●▲	▲	●● ▲▲	●▲		●▲	●	▲			
2016年	1月	●							●		●		●▲								
	2月			▲					●		●	●	●								
	3月		●		●						●		●	●							
	4月				●				●				●	●							
	5月	●						●				●	●								
	6月								●		●		●					▲			
	7月												●								
	8月										●		●								
	9月						●		●				●								
	10月	●									●						●				
	11月	●										▲	●	●		●▲		●			
	12月	●▲									●▲		●	●		●▲		●			
2017年	1月	●		●▲				●●			●▲		●●	●▲		●▲		●▲			
	2月		●						●	●	●		●▲	●▲		●▲		●▲			
	3月		●▲						●	●	●		●	●		●▲		●			
	4月			●					●		●	▲	●●	●				●			
	5月								●		●		●					●			
	6月										●			●							
	7月				●		●		●				●								●
	8月								●		●		●					●			●
	9月								●				●								
	10月										●		●					●			
	11月			▲				●					●	●		▲		●			●
	12月	●		●				●				▲	●●	●				●			
2018年	1月							●				●	●●	●		●▲					
	2月	●▲						●	●		●	▲	●	●							
	3月	▲		●				●			●		●●	●		▲	●				
	4月										●	▲	●								
	5月		●	●							●		●								
	6月		●								●		●					●			
	7月								●	●			●					●			
	8月							●		●			●								
	9月								●												